令和７年度

事業報告書

自：令和　７年　４月　１日

至：令和　８年　３月３１日

社会福祉法人青垣福祉会

令和７年度　認定こども園あおがき　事業報告

１　概要

園内研修を計画的に実施し、遊びの中で「やってみたい」が実現できる環境作りに努める。また、恵まれた青垣の自然・地域の中でのびのびと身体を動かし、豊かな体験を積み重ねる教育・保育を目指し、以下のことを重点的に取り組んだ。

（１）教育・保育の充実

・0歳～2歳児は安心できる環境のもと、受容的・応答的なかかわりを大切にし、スキンシップを通して愛着形成を育んでいった。
・遊びの中の「やってみたい」が実現できる環境を整え、自然体験や遊び込む経験から、自ら考える力を育み、自己肯定感を高められるようにした。
・斎藤公子のリズム運動を楽しみながら、体軸や感覚を養う身体づくりに努めた。
・架け橋期カリキュラムに沿った実践を行い、園小職員同士の相互理解を深め、園小連携の充実に向けて取り組んだ。
・一人ひとりを大切にし、安心して自己発揮できるインクルーシブな教育・保育の実践を行った。

（２）教育・保育の質の向上

・外部研修・園内研修（幼児理解・環境構成など）に積極的に取り組み、実践につなげていくようにした。
・職員の主体性を養い、安心して挑戦できるチーム作りを行った。

（３）地域とのかかわり

・応援隊や地域住民の方々との異世代交流を大切にし、かかわりを深めていった。

２　職員状況（令和８年３月現在）

職名	園長	主幹	主任	保育教諭	看護師	調理員	保育補助者	事務長	事務員	計
常勤	1	1	1	１０		2		1	1	１７
非常勤				１１	1	1	5			１８
合計	1	1	1	２１	1	3	5	1	1	３５

3　認定こども園あおがき園児数（令和８年３月現在）

	０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	合計
１号認定(教育標準時間認定)					４	６	１０
２号認定（保育認定）				２１	２７	１８	６６
保育標準時間（１１時間）				１２	１５	１１	３８
保育短時間（８時間）				９	１２	７	２８
３号認定	１２	１６	２３				５１
保育標準時間（１１時間）	８	９	１６				３３
保育短時間（８時間）	４	７	７				１８
合計	１２	１６	２３	２１	３１	２４	１２７

4　主な実施行事と地域との関わり

月	行事等	地域
4	7. 入園式 15. 春の遠足（3 歳児）	16. 里山体験（4・5 歳児） 17. いちご狩り（5 歳児）
5	8. 野菜苗植え 14. すくすくスイマー開始（4.5 歳児） 29. 交通安全教室 29. 内科健診 31. 奉仕作業（5 歳児保護者）	1. 氷上西高ボランティア活動 7. 8. 看護実習生受け入れ 12. 桧倉探索 16. 湊川見学ツアー 28. OB 大学ボランティア さつま芋苗挿し（5 歳児）
6	4. 参観日・給食体験会（佐治・遠阪） 引き渡し訓練 5. 参観日・給食体験会（芦田・神楽・町外） 12. 歯科検診 20. 親子バス遠足（姫路市立水族館） 30. テッラドーノ（4.5 歳児）	2. JA さつま芋苗挿し（4 歳児） 2～6. 青垣中学校トライやるウィーク 13. 氷上西高校育児体験 17. 18. 看護実習生受け入れ 24. 青垣小５年生との交流（5 歳児）
7	1. プール開き 4. 夏野菜カレークッキング 8～11. 個別懇談（5 歳児・希望児） 10. 11. 夏まつりごっこ	17. 年輪の里ワークショップ・のこぎり体験 （5 歳児） 15. ワクワクにこにこイングリッシュ（4・5 歳児） 22. 青垣小学校職員との合同意見交流会 22. 23.　青垣小学校職員の参観(5 歳児) 30. 青垣中学校ブラスバンド部演奏会
8	26. 歯科食育教室(5 歳児・保護者)	19.　民生児童委員との懇談
9	6. 奉仕作業(4 歳児保護者) 9. 野菜苗植え 19. 運動会　(0・1・2 歳児)	11. 12. 看護実習生受け入れ 30. JA 芋ほり(4 歳児)
10	11. 運動会　(3・4・5 歳児) 23. 内科健診	14. 佐治高齢者の集い参加（4 歳児） 15～17. 氷上西高等学校インターンシップ 21. 焼き芋大会

月	行事等	地域
11	6.秋の収穫祭 10.カートンドック（3・4・5歳児） 13.祖父母参観日（佐治・遠阪） 14.祖父母参観日（芦田・神楽・町外） 20.22.28.秋の遠足	3.八宿祭り（和太鼓披露・5歳児） 17.芦田高齢者の集い参加（5歳児） 26.植野美術館観賞（4歳児） 青垣小5年生との交流会（5歳児） 学習センター人形劇鑑賞（2.3.4歳児） 28.植野美術館観賞（5歳児）
12	5.生活発表会（1.2歳児） 18.餅つき遊び 23.クリスマス会	3.青垣小学校1年生との交流(5歳児) 4.神楽高齢者の集い参加（3歳児） 10.氷上高校生企業見学会 26.青垣中・氷上西高ブラスバンド部合同演奏会
1	15.とんど焼き 21.29.参観日(0歳児) 31.和太鼓発表会（4・5歳児） 生活発表会（3.4.5歳児）	8.新春お茶会 29.氷上西高校ボランティア活動
2	3.節分遊び 12.13.個別懇談会（希望児） 18.19.参観日（0歳児）	12.猿回し劇場 13.青垣小学校長による出前授業（5歳児） 25.感謝の会 26.ワクワクにこにこイングリッシュ(4.5歳児) 27.青垣小学校1年生との交流（5歳児）
3	3.ひな祭り会 5.お楽しみ遠足（FOREST　DOOR） 10.お別れ会 19.卒園式 修了式（1号認定子ども） 31.修了式（2・3号認定子ども）	3.氷上西高生とのふれあい交流 11.青垣小学校地区児童会参加（5歳児）

5　教育・保育の実施内容

（1）教育・保育の実践

自然環境学習

・わんぱーくや園庭、地域の身近な自然にふれる実体験を通して、命の大切さや五感で四季を感じとる体験を教育・保育に活かすことができた。また、４・５歳児は里山遊びを体験することで挑戦心や達成感を味わうことができた。

なかよしタイム

・３・４・５歳児が８時半から１０時頃まで自分のやってみたい遊びや好きな遊びを行い、遊びを真似たり挑戦したりして、一人ひとりが主体的に遊びを工夫しながら遊ぶことができた。また、異年齢児に親しみを持ってかかわることができた。

運動遊び

・室内に限らず戸外でも裸足で積極的に遊び、足裏からの感覚を味わった。戸外ではやってみたい遊びができるよう環境を整え、主体的に遊ぶ楽しさを味わえるようにした。また、「斎藤公

子のリズム運動」を取り入れ、年齢に応じた全身運動を継続的に行い、運動発達を促すようにした。

英語遊び

・英語講師と日常の簡単な挨拶や言葉にふれ、学期ごとに、絵カード・ゲームなどを通して、英語に親しむ機会を持った。

和太鼓遊び

・和太鼓遊びでは、伝統文化に親しみつつ、礼儀やリズム感、情緒等を育むという目標を持ち取り組んだ。４歳児は「青垣音頭」の曲太鼓と青垣に伝わる踊りを取り入れて発表を行った。５歳児は「あおがき太鼓」の曲太鼓を発表会や地域の祭りで演奏することで、子どもたちの自信につながった。また、地域の祭りで和太鼓演奏を行った。

道徳・人権教育

・友だち同士や異年齢児とのかかわり、応援隊や地域の方々との交流の中で、年齢に応じて感謝の気持ちを伝えた。また、感謝の会では、子どもたちがお世話になった方々への感謝の気持ちに気付き、ふれあいと「ありがとう」を伝えられるようにした。
・保育者は「ありがとう」の言葉を大切にし、子どもたちと一緒に言葉や態度で伝える心地よさを感じられるようにした。

特別支援教育

・発達や国籍にかかわらず、誰でも見て分かる援助方法や活動を工夫して取り組んだ。専門機関との連携を密にし、個々の課題に応じた必要な援助を行った。
・加配職員だけでなく担任も一人一人の個性や特性を理解し、活動の工夫をした。

防災安全教育

・交通安全教室を実施し、交通指導員によるロールプレイに子どもたちが参加した。また、実際に横断歩道を渡る体験を通して、日常生活での交通安全・危機意識の向上につながるような機会とした。
・起こりうる事案を想定し、毎月避難訓練を行った。３月には実施時間や避難場所を知らせず職員・子どもともに放送の指示をよく聞き取り行動できるようにした。また、防災カルタや安全に関する教材（大型絵本・クイズなど）を活用し、遊びの中で防災や身を守る意識が高められるようにした。
・ヒヤリハット事案を子どもたちと振り返り、安全な生活の仕方や遊び方を考えられるようにした。

（４） 地域の方との関わり

・地域応援隊や民生児童委員などの方々と一緒に、さつま芋の苗植えや収穫、焼き芋大会など交流をもった。収穫祭では調理や配膳をしていただきながら交流や会食を楽しんだ。

・応援隊の方に園外活動時の補助や放課後の見守りをしていただき、子どもたちとふれあい、交流を広げる場をもった。
・近くの高齢者施設のイベントや地域の高齢者の集いに参加し、子どもたちとふれあいながら様子を見てもらう機会も設けた。
・ゲストティーチャーによる、自然環境や伝統文化にふれる様々な体験活動（栽培活動・絵本の読み聞かせ・お茶会）などお世話になり、子どもたちとふれあう機会をもった。
・野菜作りを教わりながら、自分たちで育て収穫することを楽しんだ。その中で土に触れ自然の恵みに感謝し、食の循環を学ぶ体験をした。
・地域の小・中・高の児童、生徒とふれあい体験をし、交流をもった。

（3）　読み聞かせの習慣化
・３・４・５歳児は月２回、絵本の貸し出しを行い、親子のふれあいにつながるようにした。
・応援隊による読み聞かせは学期に１回行い、物語や絵本の世界を楽しめるようにした。
・４・５歳児の誕生会では、誕生児の保護者が絵本の読み聞かせをしていただく機会を設けた。

6　食育について
・今年度は、地域の方から旬の野菜や果物をたくさんいただき、子どもたちは枝から枝豆やサクランボを収穫する貴重な体験ができた。
・１月には阪神淡路大震災にかかわる話を聞き、１～５歳児は自分たちでおむすびを作り、５歳児は紙皿にナイロン袋を敷いて食べる体験から、災害時の食の工夫を知り、日々の食のありがたさを感じる機会となった。
・カミカミメニューやコツコツメニューなど、給食の献立を工夫し、食の大切さを知らせた。
・すり鉢体験では、いりこ・ゴマ・ゆかり・わかめなどをすり鉢ですり、五感に働きかけ、味わう体験を通して感性豊かな味覚を育てることができた。
・もぐもぐ相談会（０歳児対象）・給食試食会（５歳児対象）を実施し、離乳食の在り方や味覚の大切さ、献立内容・味付け・量など家庭に食の大切さを発信し、振り返る機会とした。
・食事摂取基準をもとに栄養摂取量を見直し、カロリーや栄養バランスを意識した献立を作成し、和食中心メニューを提供した。

7　安全・保健の取り組み
・小学校と連携して引き渡し訓練を実施した。
・避難訓練（月１回）やさすまた講習、心肺蘇生講習を実施し、職員の危機管理意識を高める機会をもった。
・ヒヤリハットマップの文字や掲示の仕方を工夫し、見やすくすることで保育者が常に危機意識を持ち、怪我や事故の防止に努め、安心・安全な教育・保育の充実が図れるようにした。
・マニュアルを活用し、職員の共通理解を図り、在園中に起こりうる重大事故について職員の理解を深めた。
・警察署と連携を図り、バス事故を想定した訓練をおこなった。緊急時に子どもの安全を第一に

した対応や連絡、避難方法など共通理解をした。
・子どもたちの様子や感染状況を保護者へ発信し、体調管理や感染予防、感染対策への意識を高められるようにした。
・事故や怪我などの緊急対応について、職員の役割分担やマニュアルの見直しをおこなった。また、誤飲・誤嚥時の応急対応訓練（人形を使用）を実施し、共通理解を図った。

8　学校関係者評価

・異年齢児や多世代との交流は今後の集団生活においてとても良い経験となっているため、今後も交流を続けて欲しいと感じられている。園だよりや情報アプリを活用し、園の様子や子どもたちのことを知ってもらうことができている。
・保護者アンケートの評価が高いことから、保護者も園はよくやってくれていると感じられているため、この状態を続けていく。
・全体を通して、子どもたちに様々な学習や体験・チャレンジする場を提供し、その中で一人一人に合わせた教育・指導を行っていただいていると思ってもらっている。
・子どもたちへの健康教育（食事・睡眠・虫歯・メディア依存等）にも力を入れて取り組む。
・５歳児と小学校との交流を重ねることで環境の違いを知り、新しい環境に適応しやすくなる。青垣ならではの教育（１園、１小中高）の連携を密にし、地域と共に子どもたちを育てられるよう努める。
・青垣の豊かな自然を活用し、自然環境の変化もあるが、自然遊びの中で試行錯誤する経験ができるようにしていく。
・地域の方からたくさんの食材をいただける環境と、子どもたちに還元されていることがとても良い。収穫やクッキング体験から苦手な食べ物へのチャレンジ心の芽生えや、地域の方や食への感謝の気持ちを育めるよう取り組みを続ける。

9　今後大切にすること

・継続的な交流の仕組みを整え、多世代が自然に参加できる場を広げることで、地域全体で子どもを育てる環境づくりにつなげていく。
・自然遊びや子どもが好きな遊びから生まれる気付き・発想を大切にし、季節に応じた遊びを見通しながら、さまざまな経験につながる活動を継続していく。
・『架け橋期カリキュラム』を活用し、幼児期と小学校の学びのつながりについて具体的に共有し、子どもたちがスムーズに小学校生活へ移行できるよう、相互理解を深める。
・　子ども同士が互いの個性を認め合い、支え合える関係を築けるような環境を整え、安心して生活できる人間関係の土台を育て、園生活全体の安心感につなげる。
・地域の方々との関わりを大切にしながら、食を通して感謝の心を育む活動に取り組む。
・斎藤公子のリズム運動を楽しみながら、体軸や感覚を養う身体づくりに努める。
・子どもの「やってみたい」がより深まり、仲間と共に挑戦し合える環境づくりを重点に取り組む。
・青垣の豊かな自然」と地域資源を活かし、園・家庭・地域が連携してこどもの育ちを支える体制強化に努める。